

第4回循環器病対策情報センター講演会

日時 令和8年7月30日(木) 17:30 ~ 18:30

会場 国立循環器病研究センター研究所 2F 第14会議室

(大阪府吹田市岸部新町 6-1)

Web 併催

座長 国立循環器病研究センター 循環器病対策情報センター長

飯原 弘二 先生

がん登録制度の運営の経験より ～法制化の影響、政策の評価等



演者 東京大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 教授

東 尚弘 先生

参加申込方法 参加登録フォーム URL (<https://forms.office.com/r/qqZEHSmFrm>)

または 右記 QR コードより 7月28日(火) 正午までにお申込みください

対象 : 医師、看護師、NCVC 職員、関係者

締め切り前でも受け付けを終了する場合がございます



国立循環器病研究センター 循環器病対策情報センター長 飯原弘二

情報発信啓発班 北井豪 吉村壮平

事業計画班 久松隆史 石上晃子 尾形宗土郎

要旨

がん登録は、以前より院内がん登録、地域がん登録、学会がん登録が、実施されていた。2013 年 12 月にがん登録推進法が成立し、2016 年から、全国がん登録については法律で病院に届出義務が生ずることになった。これは正確な統計のためには有用であるが、同時に全国がん登録の実施が国の事業となったことで、厳しい透明性も求められることから、罰則も含めた法律に基づく運営がなされることとなった。そのような経験をご紹介しますとともに、今後の制度設計をするならば留意すべき教訓についてお話しする。また、がん登録によって、がん対策評価に患者の視点を取り入れるための全国患者調査に活用されるなどの新しい活動を支えるインフラが整備されてきた。そのような経験もご紹介する。

演者略歴

東 尚弘（ひがし たかひろ）

現 職:東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授

最終学歴:米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校公衆衛生大学院博士課程修了

1997年3月	東京大学医学部医学科卒業
1997年4月	聖路加国際病院 内科系レジデント／内科医師
2000年7月	米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校 総合内科ヘルスサービス部門客員研究員
2005年3月	米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校公衆衛生大学院博士課程修了 ヘルスサービス博士（PhD in Health Services）取得
2005年4月	京都大学医学研究科社会健康医学系専攻医療疫学分野特任助手
2007年4月	国立がんセンターがん予防・検診研究センター検診研究部研究員
2009年7月	東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野准教授
2013年5月	国立がん研究センターがん政策科学研究部(がん臨床情報部に改称)部長
2017年4月	国立がん研究センターがん登録センターセンター長がん臨床情報部長併任
2022年5月	東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授 (国立がん研究センターとのクロスアポイントメン)
2024年3月	国立がん研究センター退職